

# 図書館の魅力

## 『お魚天国』

子どもから大人まで幅広くご利用いただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。6月のテーマコーナーは『お魚天国』です。見るもよし、食べるもよし、お魚の世界をのぞいてみましょう(7月5日(月)まで)。

### 『さかなつりにいこう!』

村上康成 / 作 理論社



さかなつりの5文字のなかには、たっぷりと、ゆったりと時間があるー。

ヤマメ、イワナ、ニジマス…。四季それぞれのさかなつりをあたたかい絵とともにつづる。

### 『つりが好き』

井伏鱒二ほか / 著 河出書房新社



糸と針で絡み合う、自然と人生。つれなくても、つれても、やめられないー。

大庭みな子、開高健、桂歌丸、矢口高雄など、釣りを愉しむ24人の作家たちの傑作アンソロジー。

【紹介文は株式会社図書館流通センターの書誌詳細より引用】

毎月10日は「魚の日(ととのひ)」。  
もっと魚を食べてほしいという願いから制定された記念日です。  
本をきっかけに、魚釣りをしたり、魚料理を作ったりして食べたりしてみましょう。



## ひと・まち・モータースポーツ

### モータースポーツお宝探検隊 vol.2

空前のバイクブームにわいた1980年代。当時高校生だった樋口武さん(53歳)も熱心に鈴鹿サーキットに通った一人です。初めて二輪レースを目にした瞬間、トップライダーたちの華麗な走りに衝撃を受け、すぐに持ち物に一眼レフが加わりました。

観戦のたびに夢中でシャッターを切った樋口さん。フィルム代や現像代を捻出するために、サーキットで清掃のバイトをしていたそうです。

会心のショットは、レースプログラムや雑誌の写真コンテストに応募。なんと、その写真が採用され、複数の誌面を飾りました。樋口さんにとって、掲載された雑誌などが、まさにかげがえのない「お宝」になっています。

「うれしいことに、息子が2輪免許を取得しようとしているんです」と笑顔の樋口さん。「いつの日かクルマやバイクが再び若者たちの憧れの存在になってほしいですね」と語ってくれました。



▲写真が掲載された雑誌など

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

### キーボード

田んぼから「げこ、げこ」とカエルの鳴き声が聞こえる季節になりました。田舎で育った私はこの鳴き声を聞くと、とても落ち着きます。一方で、この鳴き声は夏を告げる合図。どんどん気温が高くなり暑い日々がやってきます。熱中症にならないよう、気を付けたいと思います。



今回の特集は「2050年カーボンニュートラル社会へ」です。地球温暖化の原因と言われる温室効果ガスが増え続けると、最悪のシナリオでは2100年に最大4.8℃も気温が上昇すると予測されています(JCCCAホームページより)。この気温上昇を抑えるためにも、みんなで地球温暖化対策に取り組みしましょう。私は家のベランダで野菜を育ててみようと思います。二酸化炭素吸収量を増やすとともに、食材として使え一石二鳥。皆さんもいかがですか。(恵)